

# 令和2年度事業報告書・決算書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

公益財団法人福島県観光物産交流協会

# 令和2年度事業報告

## I 事業概要

当協会は、国内外からの観光客の誘致促進、福島県産品の開発、育成、販路の拡大及び観光・物産関係施設の整備運営を行うなど、観光・物産振興の総合的・一体的な展開を図り、もって本県の地域経済社会の活性化と多様な交流の拡大及び観光立国の推進に寄与することを目的に事業を実施している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により各施設の休館、物産展やツアーの中止、県外でのPR活動の自粛等、多大な影響を受けたが、県や市町村、関係団体と連携しながら公益法人として各種事業を展開し、県内観光と県産品の振興に努めた。

観光振興事業については、新型コロナウイルス感染症の動向等に留意し、オンライン等の手段を積極的に活用しながら、本県の強みである自然、温泉、歴史、そして日本酒を始めとする食、伝統工芸品などの魅力を活かし、地域連携DMOとして各観光関係団体等と連携しながら誘客促進に努めた。

国内誘客の推進については、ホームページや季刊観光情報誌等により本県の魅力を積極的に発信するとともに、東北DCに向け、専門家派遣による地域の観光コンテンツのブラッシュアップを行う等、地域が主体となった観光地づくりを進めた。また、コロナ禍で多大な影響を受けている本県観光業の需要拡大を図るため、県と連携しながら県内宿泊者に対する助成と特典クーポンの配付事業を実施した。

教育旅行については、本県教育旅行のPRと誘致促進のため、例年実施している官民一体のキャラバンをオンラインにより実施するとともに、学校や旅行会社に向け、県内教育旅行関係者からの応援メッセージや写真をエール便として送付する等、新たな取組を行った。また、本県の恵まれた環境を活かし、スポーツ・文化合宿など多種多様な合宿の誘致を図るため、地域が連携して設置した受入窓口を強化するための支援を行った。

海外誘客については、外国人専門員による外国人目線での観光素材の掘り起こしや、国別にニーズを把握しながら情報発信を行ったほか、コロナ収束後を見据えて訪日外国人の受入体制を強化するため、Wi-Fi接続環境を整備する旅館等への支援や、観光関係事業者に向けキャッシュレス決済や外国語に対応するためのオンラインセミナーを実施した。また、外国人観光客に向けたコンテンツ造成事業として浜通り10市町村と連携し、「(仮称)うつくしま浜街道トレイルルート」の案を策定した。

ホープツーリズムについては、教育旅行や企業等研修を中心として、地域の関係団体等と連携したツアーの造成、販売、催行を行うとともに、フィールドパートナーの育成事業を実施した。また、当協会がランドオペレーターとして、旅行会社と連携しながらツアー実施につなげていく体制やオンラインモニターツアーの実施体制を構築し、令和2年9月に開館した東日本大震災・原子力災害伝承館とも連携しながら、ホープツーリズムのさらなる拡大を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、ホープツーリズムのツアー・モニターツアーは29件(2,108人)が中止となった。

県産品振興事業については、アンテナショップ（福島県観光物産館・日本橋ふくしま館）への来館者に県産品の魅力発信と販売促進を図ったほか、流通業者や消費者からの情報を事業者・生産者へフィードバックすることにより、競争力の高い商品開発と効果的な販路開拓を支援した。また、B to B型（企業間取引）の卸売事業による県産品の県外等への流通促進や販路拡大のほか、越境ECストア「FukushimaPrime（ふくしまプライム）」の運営を通して海外への情報発信、販路開拓を行った。

福島県観光物産館は、コロナ禍での県産品の流通促進を図るため、客層に応じて商品の品揃えを工夫し、新聞折込チラシ等により話題商品の紹介等を積極的に行うとともに、ふくしま県産品応援商品券の発行や「ふくしまラウンジ」メニューの充実を通じて新たな客層の開拓や利用者の満足度を高めたことなどにより、オープン以来最高の売上額となった。

日本橋ふくしま館は、首都圏において、全国に誇る日本酒やくだものを始めとする優れた県産品の魅力や季節毎の観光情報、定住・二地域居住情報などの積極的な情報の提供を図ることにより、復興へ向かう「ふくしまの今」を総合的・継続的に発信する情報拠点として、県産品の風評払拭と販路拡大、観光誘客を図った。

外販については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中央官庁をはじめ関係団体と連携したマルシェ等が中止となる中、企業単位での予約注文の受注や近隣の飲食店を対象に日本酒や食材等の配達を行い、県産品の販売促進に取り組んだ。

物産展事業については、東北各県や全国の観光物産協会等との連携のもと、全国主要都市において観光物産展や地下催事をはじめ、リアル物産展からEC物産展に切り替える等、新型コロナウイルス感染症に対応した催し等を開催し、本県の優れた県産品のPR及び販路拡大とともに観光客の誘致促進を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、福島県観光物産館においては延べ28日間、日本橋ふくしま館においては延べ55日間の臨時休館となったほか、物産展事業においては26件の催事が中止・延期となった。

県産品流通促進事業については、卸売事業では、県外を中心に福島の酒等県産品の営業活動を積極的に行い販売促進を図ったことにより、当該事業を開始した前年度に比べ、取引客先は1.7倍、卸売額は2.7倍に増加した。

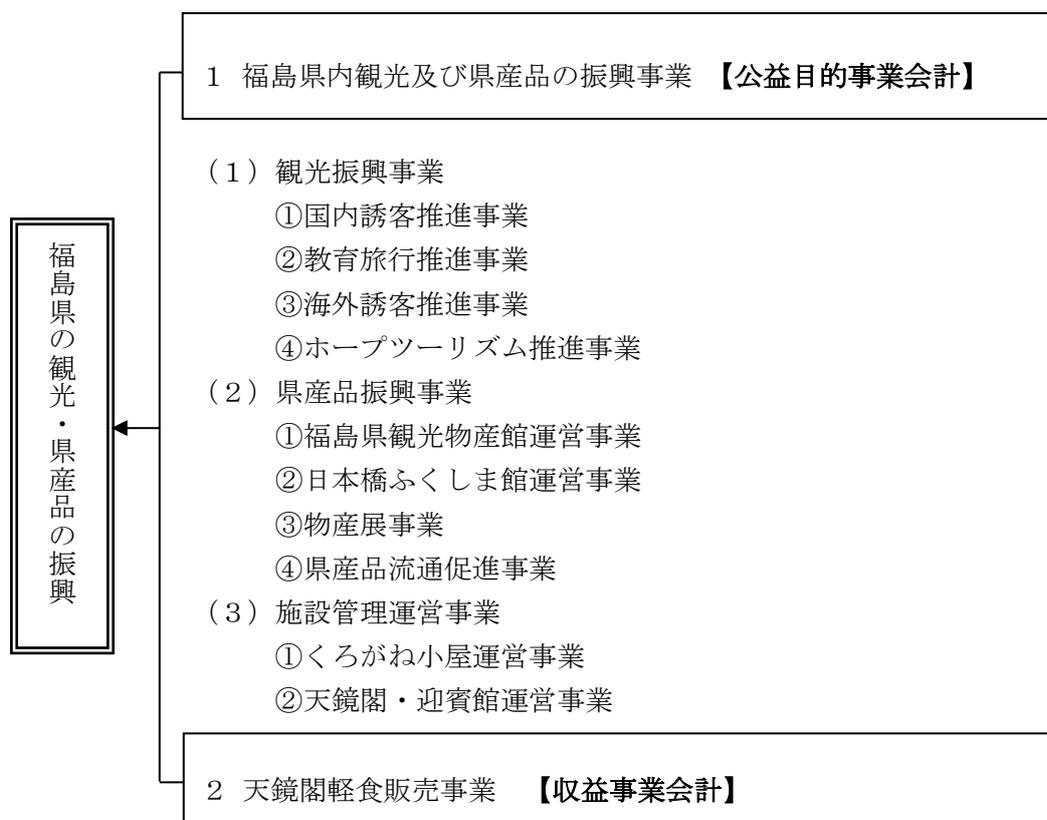
ふくしま県産品応援商品券事業では、新型コロナウイルス感染症により低迷する県産品の消費を回復・拡大させることを目的としたプレミアム付き共通商品券を発行し、県産品の消費拡大を図った。

くろがね小屋運営事業は、宿泊施設として新型コロナウイルスの感染防止に努めながら施設の適切な管理運営を行うとともに、予定されていた建替え工事のスケジュールが令和5年度以降に延期となったことから、利用者への周知を行った。

天鏡閣・迎賓館運営事業についても、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら施設の適切な管理運営を行うとともに、各種イベントの開催、オンライン旅行商談会等による誘客活動を行い来館者確保に努めた。

なお、くろがね小屋、天鏡閣においても新型コロナウイルス感染症の影響により、延べ28日間の休業を行ったことや感染防止対策のための人数制限を行って営業したこと等により、利用者数は共に前年度の半分以下となった。

## II 事業体系



## III 事業実績

### 1 福島県内観光及び県産品の振興事業

#### (1) 観光振興事業

本県への観光客の誘客に向けて、以下のとおり事業を行った。

特に、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の動向等に留意し、オンライン等の手段を積極的に活用しながら、本県全域を対象とする地域連携DMOとして各観光関係団体等と連携し、国内誘客、教育旅行、海外誘客、ホープツーリズムの4つの柱により事業を展開するとともに、地域が主体となった観光地域づくりを推進した。

#### ① 国内誘客推進事業

##### ア 東北DCに向けた観光地づくり推進事業

東北DCに向けた観光地づくり推進事業によるコンテンツ造成支援については、各採択団体からの申請書を基にヒアリングを実施し、現状・課題を把握した上でアドバイスが可能な講師の選定や派遣を行い、コンテンツの全体的なブラッシュアップを行った。

また、コロナ禍の状況を踏まえ、オン・オフラインによるコンテンツのモニターツアーを開催し、WEBアンケートの実施によるブラッシュアップフォローも実施した。

- ・採択団体 3団体 ※各方部より一団体ずつ
  - ① 中通り 一般社団法人にほんまつDMO
    - 講座 8回開催
    - オンラインツアー 1回開催（参加者延べ10名）
  - ② 浜通り 相馬市観光協会
    - 講座 7回開催
    - オフラインモニターツアー 1回開催（参加者19名）
  - ③ 会津 会津リバティ協議会
    - 講座 7回開催
    - オンラインツアー 1回開催（参加者延べ15名）
- ・WEBアンケート
 

各コンテンツのターゲットから地域、年齢を設定の上、令和3年1月に下記①、②の調査を実施した。

  - ① 定量調査（グーグルフォームを活用したアンケート形式にて実施） 339名
  - ② 定性調査（定量調査の回答から興味関心の高い人を選定し、採択団体とのオンライン座談会形式にて実施） 15名

## イ 「福が満開、福のしま。」福島県観光情報総合発信事業

本県観光情報の取りまとめや情報収集を行い、年間を通じた情報発信を行うため、ホームページ「ふくしまの旅」の管理運営及び季刊観光情報誌「ふくしまほんものの旅」を発行するとともに、県内外へのイベントに出展した。

- ・ホームページ「ふくしまの旅」
  - 延べビュー数 33,126,192pv（前年度：22,694,930pv）
  - ※前年度比46.0%増。増加要因としては、福島県周遊観光支援事業（県民割事業）の実施により旅行・宿泊関係者や一般利用者による閲覧が純増したことによる。
- ・季刊観光情報誌「ふくしまほんものの旅」
  - 年2回発行（秋・冬号、春・夏号）
  - 通常版各10万5千部、JR版各5万部 発行
- ・県内外のイベント出展
  - 出展回数 延べ12回（下記「広域観光推進」に係る出展も含む。）

### 【主なイベント】

- ・天鏡閣 文化の日イベント（R2.11.3）天鏡閣（猪苗代町）
- ・冬スポ！！WINTER SPORTS FESTA SEASON 20
  - （R2.12.12～13）朱鷺メッセ（新潟県新潟市）
  - （R2.12.19～20）夢メッセみやぎ（宮城県仙台市）
  - （R3.1.23～24）ビエント高崎（群馬県高崎市）
  - （R3.1.30～31）幕張メッセ（千葉県千葉市）
- ・SONG OF THE EARTH 311 -FUKUSHIMA 2021-（R3.3.11）J ヴィレッジ（檜葉町）
- ・福島県オンライン旅行商談会（R3.3.16）コラッセふくしま（福島市）
  - 旅行会社9社（18名）、県内団体10団体（25名）参加。

・ 広域観光推進

広域観光の推進から本県への誘客に繋げるべく、東北中央道、5県ループ（高速道路による福島県、茨城県、栃木県、群馬県及び新潟県の連結）やダイヤモンドルート（福島県、茨城県、栃木県、東京都）などを活用し、ホームページによる情報発信やイベント出展を行った。

- ・ 「5県ループ」ホームページ 延べビュー数 1,992,991pv  
(前年度：1,786,614pv)

・ 県内外のイベント出展 延べ9回

【主なイベント】

- ・ ふくしまフェスタ in 道の駅あいづ湯川・会津坂下 (R2.9.26)  
道の駅あいづ湯川・会津坂下 (湯川村)
- ・ くにみ道の駅大交流フェスタ (R2.10.10～11)  
道の駅国見あつかしの郷 (国見町)
- ・ 春の旅観光展 IN 大宮駅 (R3.3.25～27)  
JR大宮駅西口改札外イベントスペース

## ウ コンベンション開催支援事業

県の「コンベンション開催支援事業」の事務局を受託運営するとともに、広告チラシの作成及びWebページの作成・運営を行った。なお、新型コロナウイルス感染症の影響による会議の中止等により、支援の申請キャンセルが多数あった。

- ・ 受付件数 4件 延べ宿泊者数 497人泊  
(前年度：受付件数37件、延べ宿泊者数9,962人泊)

※令和2年10月まで実績なし。

10月以降、支援の申請はあったが、例年と比較し大幅な減となった。

例年35～40件、延べ人数10,000程度の実績あり。

- ・ 広告チラシの作成 (10,000) 及びWebページの作成・運営

## エ デジタルプロモーション推進事業

東北DCを契機とし、東北DC福島県版ページ作成及び公式観光ページ「ふくしまの旅」のリニューアルを実施した。各ページには、より精度の高い情報を発信するため、グーグルアナリティクス等を活用したアクセス解析システムを導入した。また、体験等コンテンツの販売を目的とした予約システムの整備を進めるとともに、現在使用している宿予約システム「旅くら」のリニューアルを実施した。

- ・ 東北DC公開スポット数 732件
- ・ 東北DC登録写真件数 2,008件
- ・ ふくしまの旅公開スポット数 1,627件
- ・ ふくしまの旅登録写真件数 11,980件

## オ 首都圏情報発信拠点を活用したPR事業

日本橋ふくしま館を拠点として、首都圏から本県への誘客促進を目的に、コロナ禍での感染対策等に十分配慮し、広報等は店舗内のみとしたイベントの開催や観光コーナー

及びイトインコーナーの改修作業を実施した。

- ・日本橋ふくしま館でのイベント実施回数 4回  
「さくらんぼフェア」(R2.6.19～21) 来館者数 2,759名  
「桃まつり」(R2.7.31～8.3) 来館者数 4,207名  
「2021新春初売り」(R3.1.2～3) 来館者数 2,407名  
「いちご&バレンタインフェア」(R3.2.11～14) 来館者数 4,633名
- ・館内ディスプレイの装飾改修 1回

## カ 就航先誘客強化特別事業

### (ア) 現地PR広報事業

福島空港の国内就航先である北海道、関西等において、本県の観光及び福島空港利活用PR等を実施した。

#### 【主なイベント】

- ・エフエムいたみラジオ番組でのPR (R2.8.24)  
コミュニティFM「エフエムいたみ」にて観光PR(兵庫県伊丹市)
- ・ツーリズムEXPOジャパン2020 (R2.10.29～11.1)  
宜野湾市多目的運動場(沖縄県宜野湾市)
- ・福島県観光物産展 (R2.11.13～14)  
天神橋筋二丁目商店街 南森町駅上スペース(大阪府大阪市)
- ・生野本通り中央商店街こども物産イベント (R2.12.15)  
生野本通中央商店街 アオハルショップ(大阪府大阪市)

### (イ) 就航先用季刊情報誌制作

季刊情報誌の就航先版を作成し、就航先での本県のイメージアップを図り、福島空港利用による観光誘客を行った。

- ・ふくしまほんものの旅 就航先版 年2回発行(秋冬号、春夏号)  
各5,000部 発行

## キ ふくしま体験周遊受入整備体制事業

磐梯吾妻スカイラインと、その周辺温泉地及び自然を活用した体験コンテンツのアピールのため、ホームページ運営、受け入れ体制の整備等を行った。

- ・ホームページ「やまふく」の管理・運営
- ・体験コンテンツの照会・ヒアリングの実施  
シャワーウオーク、サウナテント、カヌー、ファットバイクのコンテンツの提案
- ・ツーリズムEXPOジャパン東京商談会(オンライン)での情報発信 (R3.1.7～8)

## ク 福島県周遊観光支援事業(県民割事業)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により落ち込んだ旅行需要の回復を図るため、県内に宿泊した方1人1泊あたり5千円の支援及びクーポン券1,000円(500円券×2枚)の配付を行った。

- ・宿泊助成 213,078人泊(支援金額合計 1,065,390千円)

- ・クーポン 192,647 枚（支援金額合計 96,323.5 千円）
- ・宿泊助成管理システム登録数 543 施設

【事業の経過】

- 令和2年6月 県民割事業開始（旅行会社経由の予約、福島県居住者のみ対象）  
 宿泊業者の要望に応え、宿泊助成管理システムを導入の上、事業の対象を宿泊業者の直接予約にも拡大
- 7月 県民割に伴うクーポン券の配付開始
- 8月 宿泊対象者に山形県及び新潟県居住者を追加
- 9月 クーポン券配付終了
- 10月 宿泊対象者に青森県、岩手県、秋田県及び宮城県居住者を追加  
 （東北6県、新潟県居住者が対象となる）
- 12月 新型コロナウイルス感染症の流行のために、宿泊対象者を福島県に再度限定
- 令和3年1月 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い県民割事業を一時停止
- 2月 県民割事業再開
- 3月 令和2年度事業終了

ケ マイクロツーリズムの推進

県民参加による地域の魅力の再発見と情報発信を目的として、写真家の野口勝宏氏を審査員に迎え、インスタグラムによる県民限定のフォトコンテスト「ふくしまきらきらつなぎ」を開催した。

また、入賞作品は冊子として取りまとめ関係機関に送付する等、県内観光地のPR等に活用した。

- 入賞数：57点
- 応募総数：871点
- 冊子作成部数：5,000部

② 教育旅行推進事業

ア 教育旅行誘致促進事業

本県の教育旅行の再生を図るため、行政と民間が一体となった誘致キャラバン活動を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で5月より予定したキャラバン活動が実施できず、対象者を学校から旅行会社に変更し、ICTを活用したオンラインキャラバンとして実施した。

また、ホームページを通じた本県現状の理解促進のための情報発信や、来県校から情報収集を行うなど、コロナ禍における情報発信等の強化に努めた。

(ア) オンラインキャラバンの実施状況

○11月～3月実施 計22回／74名／55社（支店を含む）

- ①九州 11～12月（5回・11名・8社）  
 福岡県・佐賀県・長崎県・宮崎県・鹿児島県
- ②北海道 12月（1回・3名・3社） 北海道（札幌市）
- ③関西 12月（3回・11名・10社）  
 大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・兵庫県・和歌山県
- ④新潟 1月（4回・10名・8社） 新潟県（新潟市・長岡市）

- ⑤栃木・茨城 2月 (4回・21名・13社) 栃木県(宇都宮市)・茨城県(水戸市)
- ⑥千葉・埼玉 2月 (3回・14名・9社)  
千葉県(千葉市・松戸市)・埼玉県(さいたま市など)
- ⑦東京 3月 (2回・4名・4社) 東京都

(イ) 教育旅行ワンストップ窓口対応

県内外の学校や旅行会社からの教育旅行の資料請求をはじめ、様々な問い合わせに、本県への教育旅行の促進を図る総合受入窓口として対応した。

- ・ワンストップ窓口対応件数 250件

(ウ) 教育旅行入込調査の実施

令和元年度教育旅行入込に関する調査を福島県と連携して行った。

- ・調査対象施設／団体 601件
- ・調査協力施設／団体 522件 (回答率86.9%)
- ・延べ宿泊者数 516,525人泊 (前年度517,820人泊)  
(前年度比99.7%、平成21年度比72.8%)
- ・学校数 6,941校 (前年度7,047校)  
(前年度比98.5%、平成21年度比87.6%)

※新型コロナウイルス感染症の影響による中止

- ・延べ宿泊者数 29,893人泊
- ・学校数 406校

※新型コロナウイルス感染症の影響が無かった場合の比較(実績+中止の合計)

- ・延べ宿泊者数 546,418人泊 (前年度517,820人泊)  
(前年度比105.5%、平成21年度比77.0%)
- ・学校数 7,347校 (前年度7,047校)  
(前年度比104.3%、平成21年度比92.8%)

(エ) 「ふくしま教育旅行」ホームページ運営管理

ホームページ「ふくしま教育旅行」により、体験プログラム、各施設の案内、モデルコース、体験者の声等、本県ならではの学習効果の高い魅力ある情報発信を積極的に行った。

- ・アクセス件数 784,761件 (前年度828,053件)
- ・教育旅行関連施設データの情報更新 (随時)
- ・ホームページ情報発信件数 36件 (前年32件)

(オ) 教育旅行実施校への取材活動とメルマガの配信

県内における教育旅行実施校の活動状況の事例や、教育旅行に関する情報をメールマガジンとして編集し、全国の小中高校、旅行会社等へ配信した。

- ・来県校受入の取材活動等 4件 (前年13件)
- ・教育旅行関係者へのメールマガジン／月1回発行 発信数29,279件

(カ) 県内各市町村の助成事業等の情報発信

県及び県内の市町村が実施している助成事業を取りまとめ、ホームページやメルマガを活用して情報発信を実施した。 4回発信

- ・教育旅行情報 / 13市町村 ・合宿 / 16市町村
- ・コンベンション / 7市町村 ・その他 / 17市町村

(キ) 東北観光推進機構セミナー等へ参加し情報発信活動の実施

各団体が主催するセミナー等において、福島の実況と本県ならではの教育旅行プログラム等の説明を行うため、積極的に参加した。

7月 東北観光推進機構第1回教育旅行部会（仙台開催）

7月 東北観光推進機構北海道教育旅行セミナー（資料提供のみ）

11月 東北観光推進機構オンラインセミナー東北（オンラインプレゼン参加）

1月 東北観光推進機構オンラインセミナー全国（オンラインプレゼン参加）

3月 東北観光推進機構第2回教育旅行部会（オンライン開催）

（7～8月予定の日本修学旅行協会・全国修学旅行研究協会主催の各セミナーは中止）

(ク) 教育旅行誘致オンラインセミナーの開催

県内教育旅行関係者を対象に、コロナ禍における教育旅行誘致策を考えるためのオンラインによるバスツアー体験、企画方法等の研修を実施した。

・実施日：令和3年3月23日（火） 60名参加

・内容：第1部 オンラインツアー体験（約90分）

第2部 オンラインツアーの企画方法研修（講演90分）

(ケ) コロナ禍における自主的な取組

○4地区へのエール便の配信

コロナ禍により5月から予定していたキャラバンが実施できなかつたため、教育旅行推進員を中心とする県内教育旅行受入れ関係者の協力により、応援のメッセージと関係者の写真をまとめ、エール便として先生や旅行AGTにメールにより配信した。

・配信件数 366箇所

九州地区 86箇所 東京地区 167箇所

北海道地区 52箇所 関西地区 61箇所

○県内主要エリアの宿泊施設の空室状況の配信

コロナ禍による方面変更や延期などにより、新たな旅行先を決める上での参考としてもらうため、県内の主要な宿泊施設の空室状況を取りまとめ旅行会社へ定期的な情報提供を行った。

・9～3月の期間に5回実施

・裏磐梯、猪苗代、南会津、二本松エリア（12宿泊施設）

○県内の小・中・高校に対する県内教育旅行の実施の働きかけ

県内学校においてもコロナ禍における旅行先を検討している中、県教育委員会高校教育課及び義務教育課に対して県内への教育旅行実施を働きかけ、各学校へ教育旅行及びホープツーリズムのパンフレットの配布を行っていただいた。

・800部

## イ 合宿の里ふくしま復興事業

自然環境に恵まれたフィールドを活かし、スポーツ・文化合宿など多種多様な合宿を行うことのできる本県へ更なる誘客を図るため、県内各エリアへのヒアリングを実施した上で対象団体を選定し、地域が連携して県内の合宿窓口の強化を図るための支援を行った。

(ア) 関係団体への支援内容

①相馬スポーツツーリズム推進協議会（相馬市、新地町）

<内容：合宿パンフレット／地図制作・合宿動画制作等>

② 県南ホテル連合会（泉崎村、西郷村、棚倉町、埴町、鏡石町、矢吹町、白河市）  
＜内容：合宿パンフレット・合宿動画制作・合宿ホームページ改修等＞

③ 広野町・檜葉町・富岡町合宿誘致ネットワーク  
＜内容：合宿パンフレット制作・合宿ホームページの作成等＞

(イ) ホームページやオンラインを活用した情報発信  
ホームページの改修及びオンラインによる誘致キャラバンに相馬エリアや県南エリアから参加してもらい「合宿の里ふくしま」を広域にPRした。

## ウ 教育旅行魅力発信強化事業

(ア) 教育旅行モニターツアー事業

県外の先生方に福島を見て感じてもらい、震災後の風評払拭と本県ならではの学びを発見することで県内への教育旅行実施を検討いただくため、モニターツアーを3エリアで計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により催行中止とした。

- ・ 予定エリア  
関西エリア 九州エリア 北海道エリア

(イ) モデルコースの造成事業

従来の教育旅行プログラムと東日本大震災・原子力災害伝承館等を組み入れたホープツーリズムの連結モデルコースを造成し、オンラインキャラバン及び教育旅行総合ガイドブックへの掲載やホームページ等で情報発信を行った。

- ・ 各エリアの基点を設定しモデルコースを作成 11エリア、36コース

エリア（基点）	コース数
九州（羽田空港）、新潟県（新潟中央IC）、 栃木県（宇都宮IC）、茨城県（水戸IC）、 埼玉県（久喜IC）、千葉県（成田IC）、東京都（東京駅）、 宮城・山形県（伝承館）、岩手・青森・秋田県（伝承館）	各3コース
北海道（新函館北斗駅・札幌駅）	4コース
関西（新大阪駅・大阪空港）	5コース

(ウ) 新しい教育旅行プログラム造成に向けた事業

SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえた新しい教育旅行プログラム造成に向け、関係団体との意見交換会やワークショップ等を開催し、各地の探究学習につながる素材やテーマの検討を行った。

- ・ 12/1 会津若松エリア（参加者6名）  
テーマ：会津の歴史、仕の掟、食文化、伝統地場産業、無尽、エネルギー（水力、地熱、風力）等
- ・ 12/3 裏磐梯エリア（参加者8名）  
テーマ：森から考える海洋ゴミ問題、休耕田の復活から里山の生態系・環境問題を考える、猪苗代湖の水等
- ・ 12/4 喜多方エリア（参加者4名）  
テーマ：水が育んだ喜多方、ラーメン、新宮熊野神社長床等

(エ) 教育旅行総合ガイドブックの改訂

県外の教育旅行関係者向けの総合ガイドブックを作成するとともに、一般教育旅行にホープツーリズムを連結させたモデルコース等を取り入れたパンフレットの改訂を行った。

<仕様内容>

- ・タイトル：ふくしまから持続可能な未来を探究・創造する  
福島県教育旅行総合ガイドブック
- ・仕様：カラー 全36ページ 作成部数 10,000部

## エ 教育旅行推進委員会の運営

教育旅行推進委員会を設置し、日頃の教育旅行誘致促進に関する取組や地域の生きた情報を委員と共有することで、県内全域での教育旅行誘致促進を図った。

- 第1回 7月16日 13名参加
- 第2回 12月22日 書面会議
- 第3回 3月25日 11名参加

## ③ 海外誘客推進事業

### ア 海外情報発信力強化事業

多言語ホームページやSNS等を活用し、海外旅行エージェント・マスコミ等への本県の正確な情報発信を行い、外国人観光客の受入に関してサポートの要請があればするなど、外国人観光客の誘客を図った。

(ア) 多言語HPの管理運営

- ・各ターゲット国に対応した新たなモデルコースや記事を掲載し情報発信した。

【ビュー数の内訳】

英語	892,177pv (前年度230,329pv)
簡体	179,170pv (前年度103,711pv)
韓国	103,137pv (前年度69,371pv)
ベトナム	71,785pv (前年度10,790pv)
合計	1,246,269pv (前年度414,201pv)

※前年度比300.9%。増加要因としては、指定したターゲット層に表示させるよう設定したSNS広告(Facebook)の効果が大きく、多言語HPへ誘導することによりビュー数が増加したことによる。

- ・海外旅行会社向け専用ページを作成し、モデルコースに関連する施設情報を取得しやすくした。

(イ) Diamond Route Japan ウェブサイトの維持管理(令和2年度より)

当サイトを活用し、広域(栃木、茨城)で海外旅行会社を主体にプロモーションを行った。

当サイト ビュー数 86,876pv

(ウ) 外国人観光客への定期的な観光情報の提供

下期より新たな外国人専門員を起用し、SNSでの情報発信に重点を置き、外国人目線で数か月先のコンテンツと今現在のコンテンツをバランス良く発信した。また、新たな取組として米国向けにLive配信なども行った。

Facebook投稿数	151回 (前年度109回)
最多リーチ数	10,854- 波立海岸弁天島
Instagram投稿数	137回 (前年度320回)
最多リーチ数	4,097- 西吾妻山スノーモンスター

Live配信

大内宿

Facebook 令和3年1月21日(木) AM9:00～ 約20分間

平均視聴者数 50名 ※最多視聴者数 58名

Instagram 令和3年1月21日(木) AM9:30～ 約20分間  
平均視聴者数 23名 ※最多視聴者数 28名  
只見線第一橋梁ビューポイント  
Facebook 令和3年2月25日(木) AM9:00～ 約20分間  
平均視聴者数 43名 ※最多視聴者数 47名

#### イ 外国人誘客旅行商品造成支援事業

台湾、アセアン及び韓国、オセアニア諸国を核とした旅行商品を開発・企画する旅行エージェント等に対し、商品造成の支援を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症による海外渡航規制の影響で実施できなかった。

#### ウ 外国人受入体制強化事業

訪日外国人の受入について、主な情報収集源であるWebコンテンツの多言語化と接続環境(Wi-Fi)を整備する旅館等への助成を行った。

Wi-Fi整備	3件(前年度7件)
HP多言語化	2件(前年度4件)
案内板の多言語化	2件(前年度2件)
その他受入環境整備	6件(前年度4件)

#### エ 国際教育旅行等誘致促進事業

東アジア現地における商談会参加や教育旅行関係者を本県に招聘して、本県の正しい情報や教育旅行素材のPRなどを行い、東アジアを中心とした海外からの教育旅行の誘致を図る予定だったが、新型コロナウイルス感染症による海外渡航規制の影響で全て中止。

#### オ 国際観光推進委員会の運営

国際観光推進委員会を設置し、官民一体となった海外でのプロモーション活動や各種事業を実施し、国際観光の誘致促進等を図った。

第1回	7月15日	12名参加
第2回	12月24日	書面会議
第3回	3月25日	12名参加

#### カ 宿泊事業者受入環境整備緊急対策事業

感染症対策を含む受入環境整備を行う際の補助に係る申請書提出のサポート及び申請書類の受付事務を行った。(観光庁の補助金に上乗せして支援する事業)

ストレスフリー環境整備	15件
※Wi-Fi整備、サーモグラフィ設置等	
バリアフリー化促進	7件
※手すり、スロープ、洋式便座など	

#### キ 受入環境整備促進事業

(ア) 観光関係事業者向けにキャッシュレス決済、多言語化、災害時の対応等に関するオンラインセミナーを行った。

開催日時	1回目	12月9日	09:30～	参加者	26名
	2回目	12月9日	14:30～	参加者	15名

(イ) 新型コロナウイルス感染症に対する、感染注意喚起を目的としたお客様向け配布物を、日本語を含む、中国語(簡体字、繁体字)、タイ語、ベトナム語、英語にて作成した。

## ク 酒蔵ツーリズム

外国人観光客誘客に向けたコンテンツ造成支援として国事業（国税庁）採択となった地域（喜多方市）をサポートし、酒蔵やラーメン等を組み合わせたコンテンツの造成に取り組んだ。

## ケ みちのく潮風トレイル延伸事業

外国人観光客誘客に向けたコンテンツ造成支援として国事業（観光庁）採択となった浜通り10市町をサポートし、(仮称)うつくしま浜街道トレイルルート案を策定した。

## コ 東京都と連携した MICE に係るエクスカーション誘致促進事業

(ア) 東京都観光財団と連携して MICE メディア 1 名を招請した。

浜通りの復興と会津地方の歴史、文化を体験する工程とし、招請したメディアによる記事掲載 (Web) を行った。

(イ) モデルルートのブランディング強化として、浜通り・中通り・会津の酒蔵の取り組みを「Tokyo Weekender」Web 版及び誌面に掲載し、震災から10年が経過する中、着実に進む県内の復興の歩みを発信した。

また、「サムライ文化」が色濃く残る会津地方の歴史や文化を外国人が実際に体験し、人との交流を通じたナビゲーション動画を制作、配信した。

## ④ ホープツーリズム推進事業

### ア ホープツーリズム推進事業

福島でしか実施できない学びのツアー「ホープツーリズム」を核として、県内観光復興の推進を図った。

地域における受入環境を充実させるため、人材育成（フィールドパートナー、ヒューマン等）やコンテンツの磨き上げを行うとともに、商標利用の仕組みづくりや旅行会社専用ホームページの開設などを通じて旅行会社（AGT）との連携を進め、ホープツーリズムの利用促進に努めた。

【ホープツーリズムの実施内訳】

( ) は前年度実績

	一般		教育旅行		インバウンド		合計	
	本数	人数	本数	人数	本数	人数	本数	人数
ホープツーリズム 合計	17 (16)	368 (291)	7 (23)	535 (645)	1 (7)	7 (68)	25 (46)	910 (1,004)
協会実施ツアー	14 (10)	341 (143)	3 (14)	99 (338)	1 (5)	7 (56)	18 (29)	447 (537)
ランドオペレーター 取扱(AGT 申込)	2 (0)	21 (0)	3 (0)	419 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	440 (0)
モニターツアー	1 (6)	6 (148)	1 (9)	17 (307)	0 (2)	0 (12)	2 (17)	23 (467)

※ランドオペレーター：旅行会社からの申込で現地の手配をする組織・会社（＝協会）

	一般		教育旅行		インバウンド		合計	
	本数	人数	本数	人数	本数	人数	本数	人数
オンライン モニターツアー	0	0	13	627	0	0	13	627

※オンラインモニターツアーはR2年度より実施。

【ホープツーリズム 新型コロナウイルスによるキャンセル数】 ( ) は前年度実績

	一般		教育旅行		インバウンド		合計	
	本数	人数	本数	人数	本数	人数	本数	人数
キャンセル合計	5 (6)	124 (101)	24 (3)	1,984 (91)	0 (2)	0 (12)	29 (11)	2,108 (204)
協会実施ツアー	4 (3)	104 (51)	7 (2)	173 (68)	0 (0)	0 (0)	11 (5)	277 (119)
ランドオペレーター	0 (0)	0 (0)	14 (0)	1,757 (0)	0 (2)	0 (12)	14 (2)	1,757 (12)
モニターツアー	1 (3)	20 (50)	3 (1)	54 (23)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	74 (73)

(ア) ツアーの催行およびランドオペレーターとしての取扱い開始

教育旅行やインバウンド、企業研修等の旅行種別に応じてツアーを催行した。

旅行会社からの手配依頼に基づき、ランドオペレーターとして現地手配および現地先廻り確認・準備等を実施した。

(福島県知事登録 旅行業 2-362号、平成29年6月20日登録)

(イ) 商標利用の仕組みづくり

旅行会社がホープツーリズムを商品化する際、当協会が保有する商標を利用できるよう、旅行会社 (AGT) 専用ホームページ内に「商標使用申請」の項目を設け、使用規約の閲覧や使用申請書のダウンロードを可能とするとともに、使用申請書の提出があった8社12件に対して商標の利用を承認した。

(ウ) 専用HPやパンフレット等による情報発信

- ・ホームページやパンフレットによる発信、営業活動を行った。

ホームページ延べビュー数 日本語版 82,835pv  
英語版 2,190pv  
合 計 85,025pv

ホープツーリズム総合ガイドブック 5,000部作成

パンフレット (教育旅行版) 20,000部作成

- ・ホームページ (日本語版、英語版) を改修し、日本語版ホームページ内に、旅行会社 (AGT) 専用の情報閲覧システムを新たに構築した。

旅行会社 (AGT) 専用ホームページ登録数 152社 (支店)

- ・事例集等によるモデルコースの情報発信を行った。

(エ) 旅行エージェント等への営業活動

新型コロナウイルス感染症対策のため、対面 (訪問) 営業に代わり下記により営業活動を展開した。

- ・日本旅行業協会主催のオンラインWEBセミナーにて、全国の旅行会社へホープツーリズムの案内説明・PR発信

令和2年6月16日実施

- ・教育旅行推進課による旅行会社向けオンライン教育旅行キャラバンにおいて、ホームページ資料を使用しての案内説明・PR発信
- ・令和2年度福島県オンライン旅行商談会  
旅行会社へ資料説明を行うとともに個別対応を実施  
令和3年3月16日実施  
旅行会社9社（18名）参加

(オ) フィールドパートナーの育成

県と連携しながら、まちづくり団体等からの推薦者を対象にホープツーリズムのツアーをアテンドできる人材の育成を行った。

- ・フィールドパートナー育成・協働研修を実施（7/16-10/21）  
研修回数合計9回 参加者数19名

(カ) ヒューマンの発掘

自らの体験や取組をテーマとして参加者との対話を行うヒューマンの発掘を行うため、県、(公財)福島相双復興推進機構と連携しながら、ヒューマン候補者7名に対してヒアリングを実施した。

## イ ホープツーリズムモニター事業

モニターツアーとして教育旅行1件、企業等研修1件の合計2件（※）を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、ツアーの中止を検討している団体に対してはオンラインによるモニターツアーの実施を提案した。オンラインによるモニターツアーでは、各団体の要望に応じ所定のメニューから実施するプログラムの回数や内容を決定し、1団体当たり1～5回のプログラムを実施した。

- ※関西エリア重点校モニターツアー1件、  
企業研修プログラム(一般社団法人日本経済団体連合会)1件

## ウ コンテンツのオンライン対応による販売

ツアーを構成するホープツーリズムの一部コンテンツについて、オンライン上で実施できるように整備し販売した。

## (2) 県産品振興事業

### ① 福島県観光物産館運営事業

常設の展示・販売を行うとともに、開館17周年フェア、ふくしまの酒飲み比べ、市町村関連のイベント、生産者の対面販売を中心とする各種企画催事を開催した。

各コーナーにおいて、商品構成を充実拡大して販売商品の品揃えを豊富にするとともに、新聞折込チラシによる話題商品の紹介、ふくしまラウンジにおける新メニューの提供、ふくしま県産品応援商品券利用などにより、観光物産館オープン以来最高の売上となった。

なお、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が発令されたことに伴い、令和2年4月18日から5月15日までの28日間、臨時休館を余儀なくされた。

【展示状況】	出品者数	862社	展示点数	約5,400点
【販売状況】	売上額（税抜）	753,312千円	（前年度比	115.2%）
	販売点数	972,556点	（前年度比	110.5%）
	来館者数	599,916人	（前年度比	97.0%）
	購買者数	325,193人	（前年度比	111.3%）

【大阪サテライトショップ】

売上額（税抜）10,686千円（前年度比164.1%）  
（酒：6,142千円、食品：4,299千円、工芸245千円）

ア 自主企画イベント、県内各地域催事等の開催

- ・17周年フェア（7/17～7/26）
  - ・田村市うまいものフェア（7/17～7/19、11/6～11/8）
  - ・しもごううまいものフェア（10/18）
  - ・ニットフェア（12/4～12/6）
  - ・県北まるごと物産展（12/11～12/12）
  - ・県南販売拡大促進協議会即売会（12/16～12/17）
  - ・ふくしまものづくりマーケット（3/12～3/13）
- （新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5件の自主イベント等を中止）

イ 新商品・イベント企画等の情報発信

チラシの新聞折り込みを月2回、お歳暮ギフトチラシ1回実施したほか、フェイスブック、ホームページ等で最新情報を発信し来館促進を図った。

ウ パブリシティを活用した効果的なPR

マスコミに、催事企画・新商品等の話題を提供し積極的に情報発信を行った。

エ 事業者・生産者への助言・情報のフィードバック

講演会、研修会、セミナー等に参加し、新商品の開発や普及宣伝、販路開拓・拡大に取り組む事業者等に対して指導・助言などを行うとともに、流通業者や消費者からの情報をフィードバックすることにより、競争力の高い商品開発と効果的な販路開拓を支援した。

- 〔主な講習会等〕
- ・「相馬ブランド」認証審査会
  - ・「田村市ブランド」産品認証委員会
  - ・県南地方振興局地場産品発掘ブランド化研修講師
  - ・東京農大主催「農業経営セミナー」講師
  - ・「新しい東北」官民連携推進協議会 オブザーバー
  - ・小野町産業6次化発酵のまちづくり推進協議会委員 など

オ 観光PR

物産と観光の連携を深めるため、観光パンフレットの設置、観光ポスターの掲示のほ

か、来館者の求めに応じ県内観光の案内を実施した。

カ 特定施設県産品選定委員会

特定施設（福島県観光物産館、日本橋ふくしま館）における取扱商品を選定するために「特定施設県産品選定委員会」を開催し、新たに295品目を選定した。

② 日本橋ふくしま館運営事業

首都圏における風評払拭・風化防止の最前線として、優れた県産品の展示・販売や生産者による対面販売、ふくしま県産品応援商品券の利用や県内各観光協会等による各種催事企画を通じて、県産品の安全・安心や県内の震災後の復興状況、観光情報、定住・二地域居住情報等の総合的な情報発信を行い、県産品の販売促進・販路拡大、観光誘客を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言の影響により、下記のとおり臨時休館及び営業時間短縮を実施した。

臨時休館：延べ55日（4/4、4/5、4/9～5/31）

平日の時間短縮（1/8～3/31、閉店時間を20時から19時に1時間短縮）

【展示状況】	出品者数	600社	展示点数	約2,500点
【販売状況】	売上額（税抜）	337,376千円	（前年度比	83.5%）
	店舗	297,169千円	（前年度比	94.9%）
	外販	40,207千円	（前年度比	44.1%）
	販売点数(店舗)	537,252点	（前年度比	95.1%）
	来館者数(店舗)	295,621人	（前年度比	76.2%）
	購買者数(店舗)	143,278人	（前年度比	62.1%）

ア 自主イベント・キャンペーン等の実施

- ・旬の農産物や日本酒の販売等により、福島の「今」と魅力を発信。

さくらんぼフェア（6/19～6/21）

入賞酒飲み比べフェア（6/22～7/4）

桃フェア（7/31～8/3）

金山赤かぼちゃフェア（8/30～9/3）

フルーツフェア（9/12～9/16）

秋の収穫祭（10/9～10/11）

「福、笑い」販売促進キャンペーン（12/18～12/20、3/13～3/14）

いちご&バレンタインフェア（2/11～14）

震災から10年「復興の軌跡」パネル展（3/3～3/14）

（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1件の自主イベントを中止）

イ 「新しい生活様式」に対応したイベント等の取組

- ・民間飲食事業者と連携したリモートライブイベント「福島酒援ライブ」

第1回福島酒援ライブ（9/12 参加者1,320名に日本酒等発送）

第2回福島酒援ライブ（2/27 参加者2,376件に日本酒等発送）

- ・「みんなのきょうの料理」インスタライブ（3/13、栗原はるみ氏によるライブ配信により福島の食材等をPR。3月、月間で約35,000回再生）
- ・オンラインショップ実績（Yahooショッピング日本橋ふくしま館店 67件）

#### ウ 外販活動

新型コロナウイルス感染症の影響により省庁マルシェ等、外販をほとんどできなかったが、企業単位での予約注文の受注や近隣の飲食店を対象に日本酒や食材等の配達を行い、県産品の販売促進に取り組んだ。

- ・外販実績 17箇所、延べ 34日（前年度対比 △137箇所、△延べ194日）
- ・近隣の飲食店を対象に日本酒や食材等を配達（納品件数 117件）
- ・ふくしま応援企業ネットワーク向け特別セットの販売・配送（6～7月143セット）
- ・ふくしまの酒 web プレゼントキャンペーン当選景品配送（3/1～3/31）

#### エ ミデッテファンクラブ会員の募集

- ・会員数 2, 215人（令和2年度加入者数 151人）
- ・メールマガジンの配信 月1回（第4木曜日）

#### オ 情報発信・広報活動

月1回「MIDETTEだより」を発行し、催事やキャンペーン等の案内を行うとともに、フェイスブック、ホームページ等で最新情報を発信し来館促進を図った。

#### カ 定住・二地域居住に関する情報発信や観光業務の充実

本県への定住・二地域居住を推進するため、首都圏からの移住に関する情報の発信や相談業務等を行うとともに、来館者に対し本県の観光案内を実施し誘客を図った。

- ・定住・二地域居住相談 8件
- ・観光相談 173件

### ③ 物産展事業

本県の優良製品のPR及び販路拡大とともに、本県観光のPRを行い観光客の誘致促進を図るため、東北各県や全国の観光物産協会等と連携のもと、全国主要都市において観光物産展及び地下催事等を開催し、風評・風化対策に寄与するとともに、観光誘客を図った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、26件の物産展が中止・延期となった。（県単物産展を予定していた「福屋八丁堀本店（広島市）」も、百貨店マルシェ方式で開催した。）

- 開催回数 41回（うち2件は、web物産展）
- 出展業者 延べ 242社
- 売上額 131,715千円（前年対比 40.9%）

### ④ 県産品流通促進事業

#### ア 卸売（問屋機能）事業

単独では販売力の弱い事業者の販路開拓を支援し、県産品の流通促進・拡大を図るた

め、展示・商談会等で開拓した小売店等への積極的な営業活動を行うことにより、B to B型（企業間取引）の卸売事業を行った。

- ・商品登録

登録事業者 283社（2年度登録 92社）

登録商品 2,291点（2年度登録1,276点）

- ・営業訪問 45社

- ・商談会出展

「ふくしまプライド。食材博」

開催場所 日本橋ロイヤルパークホテル

開催期間 令和2年10月27日

「JFフードサービスバイヤーズ商談会」

開催場所 五反田TOCビル

開催期間 令和2年11月17日

「スーパーマーケットトレードショー2021」

開催場所 幕張メッセ

開催期間 令和3年2月17日～2月19日

- ・卸売実績

取引客先 73件（元年度 47件）

卸売額（税込） 51,158千円（元年度18,691千円）

#### イ ふくしま県産品応援商品券事業

新型コロナウイルス感染症により低迷する県産品の消費を回復・拡大させることを目的としたプレミアム付き共通商品券を発行し、県産品の消費拡大を図った。

- ・発行総額 : 371,000千円

- ・発行部数 : 53,000部

- ・販売価格 : 1部5,000円

- ・額面価格 : 1部7,000円（プレミアム分 1部2,000円）

- ・利用施設 : 福島県観光物産館、日本橋ふくしま館、福島県観光物産館大阪支所 サテライトショップ及び福島県内連携店（6施設）・首都圏等の飲食店（29施設）。

- ・商品券利用実績 : 367,795千円（発行額面に対する利用率 99.1%）

#### ウ 越境ECオンラインショップ運営事業

県が、インターネット通信サイトを活用して構築した海外向けオンラインショップ「FukushimaPrime（ふくしまプライム）」の年間を通じた商品の追加入れ替え、代金決済などの運営を行い、県産品の海外への情報発信、販路開拓を図った。

※「FukushimaPrime（ふくしまプライム）」では、「eBay（イーベイ）」のショップを展開している。

- ・「eBay」
 

取扱商品	加工食品、工芸品等	
出展者	13事業者	21商品
販売点数	49点	

エ 県産品カタログ活用事業

贈答用に特化した県産品カタログを作成して本県を支援しようとする企業等に配布し、県産品の通信販売を行った。

また、双葉町において、町民の生活再建等を支援することを目的に実施する事業と連携し、全世帯に本カタログを配布し県産品の通信販売を行った。

- ・福島県観光物産館 3, 541件 17, 163千円
- ・日本橋ふくしま館 723件 4, 633千円

〔県産品カタログを利用した通信販売〕

- ・双葉町 1, 861件 9, 260千円
- ・電気事業連合会 649件 4, 965千円（桃の販売）
- 543件 4, 643千円（カタログ販売）

**（３）施設管理運営事業**

**① くろがね小屋運営事業**

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により4月18日から5月15日までの28日間休業した。再開後は宿泊定員の減員（50人→25人）等の人数制限や、利用者の検温、施設内の消毒等を実施し、感染防止に努めながら管理運営を適切に行った。

県による建替えの計画が令和5年度まで延期されたことから、県と情報を共有し、利用者等への周知を行った。

自主事業として、前年度から引き続き現在のくろがね小屋の様子を映像で残す記録事業を実施し、冬季の撮影を行った。

- ・宿泊者数 2, 393人（前年度比45.7%）
- ・売上額 16, 641千円（前年度比49.9%）

**② 天鏡閣・迎賓館運営事業**

**ア 天鏡閣**

国指定重要文化財天鏡閣の施設、設備及び備品の管理運営を適切に実施した。

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言により4月18日から5月15日までの28日間休業した。

誘客についてはオンライン旅行商談会や教育旅行オンラインツアーセミナーへ参加したほか、感染防止対策をとりながらイベントを開催した。

見学者へSNS投稿で割引クーポンを配布し誘客促進を図った。

- ・入館料収入 3, 273千円（前年度比44.7%）
- ・入館者数 10, 904人（前年度比45.3%）

### 【主なイベント】

- ・天鏡閣と迎賓館の春まつり  
新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言による休館のため中止。
- ・福島県民の日無料開放  
令和2年8月21日 入館者240名
- ・天鏡閣ライトアップハロウィンナイト  
令和2年10月30日・31日 入園者19名 入館者118名
- ・文化の日記念イベント  
令和2年11月3日 参加者16名 天鏡閣入館者127名

## イ 迎賓館

国指定重要文化財福島県迎賓館の施設、設備及び備品の管理運営を適切に実施した。通常非公開である建物内部を期間限定で特別公開し、貴重な文化財の魅力に触れる機会を提供した。

- ・迎賓館特別公開 7月11日～11月8日（100日間）  
入館者363名（前年度比45.7%）

## 2 天鏡閣軽食販売事業【収益事業】

天鏡閣の館内ティールームで地元産ハーブティーと、オリジナルスイーツをセットで提供した。屋内及び屋外売店では、県内産食材を使用したメンチカツなどオリジナル商品を販売し、利用者へのサービス向上に努めた。

- ・売上額 1,982千円（前年度比50.3%）

## 3 自主財源の確保と人材育成

### (1) 自主財源の確保

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、民間事業者の会費を免除し、新規会員の募集を見合わせた。

雇用調整助成金・持続化給付金等の制度を利用し、財源の確保に努めた。

### (2) 人材育成

新型コロナウイルス感染症の影響により集合研修が減少したが、参加可能な研修等に積極的に参加し、業務知識の習得やスキルアップに努めた。

#### 【主な研修】

- ・接客マナー研修
- ・酒類販売管理研修
- ・公益法人協会主催研修

## IV 評議員会・理事会関係

### 1 評議員会

#### (1) 令和2年度第1回評議員会（決議の省略の方法） 令和2年4月1日

議案第1号 評議員補欠選任の件

議案第2号 理事補欠選任の件

#### (2) 令和2年度第2回評議員会 令和2年6月29日

議案第1号 令和元年度決算について

議案第2号 評議員の補欠選任について

報告事項(1) 令和元年度事業報告について

報告事項(2) 令和2年度事業計画・収支予算について

報告事項(3) 新型コロナウイルスの影響と対応について

報告事項(4) 令和2年度会員の会費について

報告事項(5) 収益事業の累積赤字への対応等について

### 2 理事会

#### (1) 令和2年度第1回理事会（決議の省略の方法） 令和2年4月1日

議案第1号 常務理事選定の件

議案第2号 事務局長選任の件

#### (2) 令和2年度第2回理事会 令和2年6月10日

議案第1号 令和元年度事業報告について

議案第2号 令和元年度決算について

議案第3号 令和2年度第2回評議員会の招集について

報告事項(1) 業務執行理事の職務執行状況報告について

報告事項(2) 新型コロナウイルスの影響と対応について

報告事項(3) 令和2年度会員の会費について

報告事項(4) 収益事業の累積赤字への対応等について

#### (3) 令和2年度第3回理事会 令和2年11月17日

議案第1号 令和2年度事業計画の変更について

議案第2号 令和2年度収支予算の変更について

報告事項(1) 令和2年度上半期事業実績及び今後の取組について

報告事項(2) 業務執行理事の職務執行状況報告について

#### (4) 令和2年度第4回理事会 令和3年3月24日

議案第1号 令和2年度収支予算の補正について

議案第2号 令和3年度事業計画について

議案第3号 令和3年度収支予算について

議案第4号 特定費用準備資金について

議案第5号 資産取得資金について

議案第6号 令和3年度資金調達及び設備投資の見込みについて

議案第7号 中期事業・運営計画について

議案第8号	令和3年度役員報酬について
議案第9号	令和3年度第1回評議員会の招集について
報告事項	業務執行理事の職務執行状況報告について

## V 役員等の異動

### 1 評議員の異動

令和2年4月 1日	選任	國分 守
令和2年6月22日	辞任	古津 敬浩
令和2年6月30日	辞任	高橋 隆助
令和2年7月 1日	選任	大川 潤一郎、満田 盛護

### 2 理事の異動

令和2年4月 1日	選任	中村 伸裕
令和3年3月31日	辞任	吾妻 嘉博

## 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書は作成しない。

## 貸借対照表（総合）

令和3年3月31日現在

（単位：円）

科 目	当 期	前 期	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	8,877,484	10,037,741	△ 1,160,257
普通預金	375,355,145	156,160,250	219,194,895
売掛金	25,710,538	2,815,400	22,895,138
信販未収金	17,605,595	13,306,578	4,299,017
未収金	77,510,490	50,268,303	27,242,187
商品	21,921,125	16,322,914	5,598,211
食事材料	619,647	482,299	137,348
貯蔵品	564,232	204,536	359,696
前払費用	5,999,376	6,091,952	△ 92,576
貸倒引当金	△ 1,208,261	△ 663,898	△ 544,363
流動資産合計	532,955,371	255,026,075	277,929,296
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	905,335,951	905,656,133	△ 320,182
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	915,335,951	915,656,133	△ 320,182
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,886,194	22,886,194	0
運営強化積立預金	6,054,000	6,054,000	0
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	84,000,000	94,000,000	△ 10,000,000
公益目的事業財政安定化積立資金	6,500,000	0	6,500,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	4,000,000	0	4,000,000
物産館・日本橋販売管理システム入替資金	10,000,000	0	10,000,000
特定資産合計	133,440,194	122,940,194	10,500,000
(3) その他固定資産			
車両運搬具	339,993	510,498	△ 170,505
什器備品	2,807,851	4,130,467	△ 1,322,616
ソフトウェア	539,234	882,034	△ 342,800
電話加入権	298,552	298,552	0
敷金	2,257,240	2,257,240	0
保証金	2,510,000	2,200,000	310,000
出資金	50,000	50,000	0
預託金	13,710	13,710	0
その他固定資産合計	8,816,580	10,342,501	△ 1,525,921
固定資産合計	1,057,592,725	1,048,938,828	8,653,897
資産合計	1,590,548,096	1,303,964,903	286,583,193
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	90,543,479	58,865,192	31,678,287
未払金	1,128,610	0	1,128,610
未払費用	212,563,798	108,926,475	103,637,323
未払消費税等	33,537,531	13,095,400	20,442,131
前受金	18,563,740	110,119	18,453,621
預り金	4,715,205	4,660,579	54,626
仮受金	19,224,835	20,777,257	△ 1,552,422
未払法人税等	242,000	242,000	0
流動負債合計	380,519,198	206,677,022	173,842,176
2. 固定負債			
退職給付引当金	20,819,222	20,819,222	0
固定負債合計	20,819,222	20,819,222	0
負債合計	401,338,420	227,496,244	173,842,176

(単位：円)

科 目	当 期	前 期	増 減
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	2,066,972	2,066,972	0
寄付金	917,600,000	917,600,000	0
基本財産運用益差額	△ 2,264,049	△ 1,943,867	△ 320,182
指定正味財産合計	917,402,923	917,723,105	△ 320,182
(うち基本財産への充当額)	(915,335,951)	(915,656,133)	(△320,182)
(うち特定資産への充当額)	(2,066,972)	(2,066,972)	(0)
2. 一般正味財産	271,806,753	158,745,554	113,061,199
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(110,554,000)	(100,054,000)	(10,500,000)
正味財産合計	1,189,209,676	1,076,468,659	112,741,017
負債及び正味財産合計	1,590,548,096	1,303,964,903	286,583,193

貸借対照表内訳表  
令和3年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業会計								収益事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計			小計				天鏡閣売店
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣	迎賓館					
<b>I 資産の部</b>													
1. 流動資産													
現金	0	4,473,021	2,696,053	0	0	1,484,850	177,758	0	8,831,682	45,802	0	0	8,877,484
普通預金	136,375,224	102,008,748	54,879,006	21,225,685	45,012,330	3,287,351	751,161	0	363,539,505	1,078,685	10,736,955	0	375,355,145
売掛金	0	10,647,430	14,992,128	0	0	68,500	2,480	0	25,710,538	0	0	0	25,710,538
信販未収金	0	10,852,520	6,747,498	0	0	0	0	0	17,600,018	5,577	0	0	17,605,595
未収金	60,796,999	162,165	2,937	1,707,345	1,083,188	11,781,856	1,976,000	0	77,510,490	0	0	0	77,510,490
商品	0	11,009,983	9,134,076	0	0	1,115,141	0	0	21,259,200	661,925	0	0	21,921,125
食事材料	0	0	0	0	0	619,647	0	0	619,647	0	0	0	619,647
貯蔵品	0	0	0	0	0	455,722	99,655	0	555,377	8,855	0	0	564,232
前払費用	119,820	0	5,394,670	232,236	9,000	62,250	0	0	5,817,976	0	181,400	0	5,999,376
貸倒引当金	△ 607,969	△ 216,621	△ 217,425	△ 17,073	△ 10,831	△ 118,503	△ 19,784	0	△ 1,208,206	△ 55	0	0	△ 1,208,261
他会計貸付金	0	0	10,784,701	48,145,110	0	0	0	1,769,929	60,699,740	0	40,701,382	△ 101,401,122	0
流動資産合計	196,684,074	138,937,246	104,413,644	71,293,303	46,093,687	18,756,814	2,987,270	1,769,929	580,935,967	1,800,789	51,619,737	△ 101,401,122	532,955,371
2. 固定資産													
(1) 基本財産													
投資有価証券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	905,335,951	0	905,335,951
定期預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000,000	0	10,000,000
基本財産合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	915,335,951	0	915,335,951
(2) 特定資産													
退職給付引当資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22,886,194	0	22,886,194
運営強化積立預金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,054,000	0	6,054,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	0	0	84,000,000	0	0	0	0	0	84,000,000	0	0	0	84,000,000
公益目的事業財政安定化積立資金	6,500,000	0	0	0	0	0	0	0	6,500,000	0	0	0	6,500,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	0	0	0	0	0	4,000,000	0	0	4,000,000	0	0	0	4,000,000
物産館・日本橋販売管理システム入替資金	0	10,000,000	0	0	0	0	0	0	10,000,000	0	0	0	10,000,000
特定資産合計	6,500,000	10,000,000	84,000,000	0	0	4,000,000	0	0	104,500,000	0	28,940,194	0	133,440,194
(3) その他固定資産													
車両運搬具	0	333,415	0	0	0	1	6,577	0	339,993	0	0	0	339,993
什器備品	2	2,578,621	0	0	152,794	24,457	0	0	2,755,874	0	51,977	0	2,807,851
ソフトウェア	0	539,234	0	0	0	0	0	0	539,234	0	0	0	539,234
電話加入権	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	298,552	0	298,552
敷金	17,240	0	2,240,000	0	0	0	0	0	2,257,240	0	0	0	2,257,240
保証金	2,510,000	0	0	0	0	0	0	0	2,510,000	0	0	0	2,510,000
出資金	50,000	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	0	50,000
預託金	0	10,360	0	0	0	3,350	0	0	13,710	0	0	0	13,710
その他固定資産合計	2,577,242	3,461,630	2,240,000	0	152,794	27,808	6,577	0	8,466,051	0	350,529	0	8,816,580
固定資産合計	9,077,242	13,461,630	86,240,000	0	152,794	4,027,808	6,577	0	112,966,051	0	944,626,674	0	1,057,592,725
資産合計	205,761,316	152,398,876	190,653,644	71,293,303	46,246,481	22,784,622	2,993,847	1,769,929	693,902,018	1,800,789	996,246,411	△ 101,401,122	1,590,548,096
<b>II 負債の部</b>													
1. 流動負債													
買掛金	0	58,031,060	32,351,674	0	0	0	0	0	90,382,734	160,745	0	0	90,543,479
未払金	0	0	0	0	0	1,128,610	0	0	1,128,610	0	0	0	1,128,610
未払費用	146,538,377	14,105,486	10,077,270	377,709	37,366,811	1,038,868	504,801	1,726,528	211,735,850	1,991	825,957	0	212,563,798
未払消費税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,537,531	0	33,537,531
前受金	2,298,760	0	6,480	0	16,258,500	0	0	0	18,563,740	0	0	0	18,563,740
預り金	1,157,045	774,531	878,729	109,893	559,773	370,498	145,551	43,401	4,039,421	0	675,784	0	4,715,205
仮受金	0	977,039	286,386	17,961,410	0	0	0	0	19,224,835	0	0	0	19,224,835
未払法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242,000	0	242,000
他会計借入金	6,629,609	15,971,061	0	0	20,761,896	22,856,675	2,853,607	0	69,072,848	32,328,274	0	△ 101,401,122	0
流動負債合計	156,623,791	89,859,177	43,600,539	18,449,012	74,946,980	25,394,651	3,503,959	1,769,929	414,148,038	32,491,010	35,281,272	△ 101,401,122	380,519,198
2. 固定負債													
退職給付引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,819,222	0	20,819,222
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,819,222	0	20,819,222
負債合計	156,623,791	89,859,177	43,600,539	18,449,012	74,946,980	25,394,651	3,503,959	1,769,929	414,148,038	32,491,010	56,100,494	△ 101,401,122	401,338,420
<b>III 正味財産の部</b>													
1. 指定正味財産													
地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,066,972	0	2,066,972
寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,600,000	0	917,600,000
基本財産運用益差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 2,264,049	0	△ 2,264,049
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,402,923	0	917,402,923
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(915,335,951)	(0)	(915,335,951)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2,066,972)	(0)	(2,066,972)
2. 一般正味財産													
(うち基本財産への充当額)	49,137,525	62,539,699	147,053,105	52,844,291	△ 28,700,499	△ 2,610,029	△ 510,112	0	279,753,980	△ 30,690,221	22,742,994	0	271,806,753
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(6,500,000)	(10,000,000)	(84,000,000)	(0)	(0)	(4,000,000)	(0)	(0)	(104,500,000)	(0)	(6,054,000)	(0)	(110,554,000)
正味財産合計	49,137,525	62,539,699	147,053,105	52,844,291	△ 28,700,499	△ 2,610,029	△ 510,112	0	279,753,980	△ 30,690,221	940,145,917	0	1,189,209,676
負債及び正味財産合計	205,761,316	152,398,876	190,653,644	71,293,303	46,246,481	22,784,622	2,993,847	1,769,929	693,902,018	1,800,789	996,246,411	△ 101,401,122	1,590,548,096

## 正味財産増減計算書（総合）

令和2年 4月 1日 から 令和3年 3月31日 まで

（単位：円）

科目	当 期	前 期	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	11,022,602	11,151,600	△ 128,998
基本財産運用益計	11,022,602	11,151,600	△ 128,998
特定資産運用益			
特定資産受取利息	7,860	17,556	△ 9,696
特定資産運用益計	7,860	17,556	△ 9,696
受取会費			
正会員受取会費	4,093,000	10,779,000	△ 6,686,000
賛助会員会費	0	177,000	△ 177,000
受取会費計	4,093,000	10,956,000	△ 6,863,000
事業収益			
受取受託料収入	1,812,083,505	685,884,376	1,126,199,129
受取物産品売上高	1,106,247,387	1,072,471,318	33,776,069
受取手数料収入	16,210,923	17,627,544	△ 1,416,621
負担金収入	6,946,588	2,073,586	4,873,002
使用料収入	12,754,338	27,484,789	△ 14,730,451
食事料収入	4,080,000	8,691,440	△ 4,611,440
旅行売上高	10,055,420	24,940,914	△ 14,885,494
受取雑収入	2,931,423	2,222,200	709,223
値引・戻り高	15,052,554	8,896,756	6,155,798
事業収益計	2,956,257,030	1,832,499,411	1,123,757,619
受取補助金等			
受取補助金	88,694,000	80,957,974	7,736,026
受取補助金等計	88,694,000	80,957,974	7,736,026
受取寄付金			
受取寄付金	0	10,000	△ 10,000
受取寄付金計	0	10,000	△ 10,000
雑収益			
受取利息	1,087	1,182	△ 95
その他雑収益	24,177,670	644,111	23,533,559
雑収益計	24,178,757	645,293	23,533,464
経常収益計	3,084,253,249	1,936,237,834	1,148,015,415
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	16,805,213	20,099,824	△ 3,294,611
物産品仕入高	848,142,106	830,672,802	17,469,304
物産品廃棄損等	6,185,768	6,957,765	△ 771,997
食事材料仕入高	1,581,491	3,110,035	△ 1,528,544
旅行仕入高	11,914,709	36,377,268	△ 24,462,559
期末たな卸高	22,540,772	16,805,213	5,735,559
給料手当	236,536,082	244,754,547	△ 8,218,465
諸謝金	2,725,317	7,269,468	△ 4,544,151
貸金	73,717,729	77,563,663	△ 3,845,934
退職給付費用	1,128,610	0	1,128,610
福利厚生費	51,890,999	52,589,942	△ 698,943
退職金共済掛金	3,013,617	3,042,751	△ 29,134
旅費交通費	5,458,127	17,176,492	△ 11,718,365

(単位：円)

科目	当 期	前 期	増 減
通信運搬費	5,924,487	5,158,921	765,566
減価償却費	2,026,570	2,962,125	△ 935,555
消耗品費	22,120,748	17,365,804	4,754,944
修繕費	2,526,349	4,737,023	△ 2,210,674
印刷製本費	17,831,379	21,029,276	△ 3,197,897
燃料費	1,843,068	2,189,095	△ 346,027
光熱水料費	15,270,645	17,856,965	△ 2,586,320
賃借料	81,897,332	85,430,472	△ 3,533,140
支払手数料	24,004,946	14,014,050	9,990,896
広告宣伝費	39,210,961	30,900,300	8,310,661
租税公課	1,573,527	927,167	646,360
支払負担金	18,323,142	10,563,304	7,759,838
支払助成金	1,271,603,883	341,792,767	929,811,116
支払寄付金	0	30,000	△ 30,000
委託費	190,912,643	68,311,129	122,601,514
保険料	1,389,688	2,038,408	△ 648,720
受託設備費	1,985,340	259,000	1,726,340
包装資材費	10,571,386	10,188,250	383,136
交際費	74,334	575,512	△ 501,178
会議費	116,863	284,012	△ 167,149
食糧費	84,189	210,162	△ 125,973
運賃	8,719,700	4,135,073	4,584,627
従業員食事材料費	157,500	139,707	17,793
研修費	641,598	1,592,807	△ 951,209
雑損失	41,120	48,252	△ 7,132
貸倒引当金繰入	1,208,261	663,898	544,363
雑費	450,758	542,023	△ 91,265
事業費計	2,957,069,413	1,926,754,846	1,030,314,567
管理費			
役員報酬	12,121,925	12,164,925	△ 43,000
給料手当	3,237,926	3,363,421	△ 125,495
福利厚生費	1,092,429	1,039,901	52,528
退職金共済掛金	148,383	148,589	△ 206
交際費	0	11,667	△ 11,667
旅費交通費	84,006	357,725	△ 273,719
通信運搬費	111,297	106,630	4,667
減価償却費	2,349	2,661	△ 312
消耗品費	51,707	101,385	△ 49,678
修繕費	6,554	0	6,554
印刷製本費	10,551	25,213	△ 14,662
燃料費	5,344	32,198	△ 26,854
光熱水料費	24,978	29,849	△ 4,871
賃借料	75,719	138,073	△ 62,354
広告宣伝費	9,558	18,584	△ 9,026
租税公課	97,970	343,216	△ 245,246
支払負担金	5,462	6,793	△ 1,331
支払寄付金	20,000	20,000	0
支払手数料	27,183	12,316	14,867
運賃	4,900	6,370	△ 1,470
研修費	33,200	260,737	△ 227,537
委託費	13,092	3,395	9,697
管理費計	17,184,533	18,193,648	△ 1,009,115
経常費用計	2,974,253,946	1,944,948,494	1,029,305,452
評価損益等調整前当期経常増減額	109,999,303	△ 8,710,660	118,709,963
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	109,999,303	△ 8,710,660	118,709,963

(単位：円)

科目	当 期	前 期	増 減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
その他の経常外収益			
貸倒引当金戻入	663,898	1,196,327	△ 532,429
過年度損益修正益	0	530,000	△ 530,000
過年度雑収益	2,640,000	0	2,640,000
その他の経常外収益計	3,303,898	1,726,327	1,577,571
経常外収益計	3,303,898	1,726,327	1,577,571
(2) 経常外費用			
固定資産除却損			
固定資産除却損	2	0	2
固定資産除却損計	2	0	2
その他の経常外費用			
退職給付引当金繰入額	0	11,835,000	△ 11,835,000
その他の経常外費用計	0	11,835,000	△ 11,835,000
経常外費用計	2	11,835,000	△ 11,834,998
当期経常外増減額	3,303,896	△ 10,108,673	13,412,569
他会計振替前当期一般正味財産増減額	113,303,199	△ 18,819,333	132,122,532
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	113,303,199	△ 18,819,333	132,122,532
法人税、住民税及び事業税	242,000	242,000	0
当期一般正味財産増減額	113,061,199	△ 19,061,333	132,122,532
一般正味財産期首残高	158,745,554	177,806,887	△ 19,061,333
一般正味財産期末残高	271,806,753	158,745,554	113,061,199
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	10,702,420	10,829,508	△ 127,088
基本財産運用益計	10,702,420	10,829,508	△ 127,088
特定資産運用益			
特定資産受取利息	207	206	1
特定資産運用益計	207	206	1
一般正味財産への振替額	11,022,809	11,151,806	△ 128,997
当期指定正味財産増減額	△ 320,182	△ 322,092	1,910
指定正味財産期首残高	917,723,105	918,045,197	△ 322,092
指定正味財産期末残高	917,402,923	917,723,105	△ 320,182
III 正味財産期末残高	1,189,209,676	1,076,468,659	112,741,017

**正味財産増減計算書内訳表**  
令和2年 4月 1日 から 令和3年 3月31日 まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計								収益事業会計 天鏡閣売店	法人会計	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計						小計
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣	迎賓館				
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益												
基本財産受取利息	2,755,651	0	0	0	2,755,651	0	0	0	5,511,302	0	5,511,300	11,022,602
基本財産運用益計	2,755,651	0	0	0	2,755,651	0	0	0	5,511,302	0	5,511,300	11,022,602
特定資産運用益												
特定資産受取利息	0	0	7,229	0	0	0	0	0	7,229	0	631	7,860
特定資産運用益計	0	0	7,229	0	0	0	0	0	7,229	0	631	7,860
受取会費												
正会員受取会費	0	0	0	2,046,500	0	0	0	0	2,046,500	0	2,046,500	4,093,000
受取会費計	0	0	0	2,046,500	0	0	0	0	2,046,500	0	2,046,500	4,093,000
事業収益												
受取受託料収入	1,473,334,272	24,081,509	102,635,772	0	181,869,219	10,611,818	13,474,545	6,076,370	1,812,083,505	0	0	1,812,083,505
受取物産品売上高	0	763,998,099	337,376,266	0	0	3,075,367	0	0	1,104,449,732	1,797,655	0	1,106,247,387
受取手数料収入	546,864	2,899,150	1,739,600	6,139,489	4,885,820	0	0	0	16,210,923	0	0	16,210,923
負担金収入	6,354,284	0	0	592,304	0	0	0	0	6,946,588	0	0	6,946,588
使用料収入	0	0	0	0	0	9,480,773	3,273,565	0	12,754,338	0	0	12,754,338
食料収入	0	0	0	0	0	4,080,000	0	0	4,080,000	0	0	4,080,000
旅行売上高	10,055,420	0	0	0	0	0	0	0	10,055,420	0	0	10,055,420
受取雑収入	8,800	2,286,002	362,160	0	85,502	4,550	0	0	2,747,014	184,409	0	2,931,423
値引・戻り高	0	12,506,553	2,546,001	0	0	0	0	0	15,052,554	0	0	15,052,554
事業収益計	1,490,299,640	780,758,207	439,567,797	6,731,793	186,840,541	27,252,508	16,748,110	6,076,370	2,954,274,966	1,982,064	0	2,956,257,030
受取補助金等												
受取補助金	58,866,948	91,960	65,180	22,796	11,602,991	30,551	23,422	3,403,436	74,107,284	0	14,586,716	88,694,000
受取補助金等計	58,866,948	91,960	65,180	22,796	11,602,991	30,551	23,422	3,403,436	74,107,284	0	14,586,716	88,694,000
雑収益												
受取利息	26	416	586	21	0	19	6	0	1,074	5	8	1,087
その他雑収益	102,647	5,004,994	8,702,813	336,407	73,490	1,018,544	578,378	160,397	15,977,670	0	8,200,000	24,177,670
雑収益計	102,673	5,005,410	8,703,399	336,428	73,490	1,018,563	578,384	160,397	15,978,744	5	8,200,008	24,178,757
経常収益計	1,552,024,912	785,855,577	448,343,605	9,137,517	201,272,673	28,301,622	17,349,916	9,640,203	3,051,926,025	1,982,069	30,345,155	3,084,253,249
(2) 経常費用												
事業費												
期首たな卸高	0	7,653,162	6,539,496	0	0	1,984,611	0	0	16,177,269	627,944	0	16,805,213
物産品仕入高	0	594,781,446	250,867,399	0	0	1,172,901	0	0	846,821,746	1,320,360	0	848,142,106
物産品廃棄損等	0	2,798,787	3,333,665	0	0	10,136	0	0	6,142,588	43,180	0	6,185,768
食事材料仕入高	0	0	0	0	0	1,581,491	0	0	1,581,491	0	0	1,581,491
旅行仕入高	11,914,709	0	0	0	0	0	0	0	11,914,709	0	0	11,914,709
期末たな卸高	0	11,009,983	9,134,076	0	0	1,734,788	0	0	21,878,847	661,925	0	22,540,772
給料手当	84,814,846	39,960,174	45,991,328	7,564,387	28,312,161	17,464,749	9,516,780	2,911,657	236,536,082	0	0	236,536,082
諸謝金	2,460,817	0	0	32,000	0	0	30,000	202,500	2,725,317	0	0	2,725,317
賃金	0	34,876,031	33,620,079	2,847,806	0	993,257	1,033,380	0	73,370,553	347,176	0	73,717,729
退職給付費用	0	0	0	0	0	1,128,610	0	0	1,128,610	0	0	1,128,610
福利厚生費	13,918,156	12,196,308	14,015,583	1,827,133	4,846,342	2,828,544	1,761,025	449,676	51,842,767	48,232	0	51,890,999
退職金共済掛金	638,149	791,541	86,400	188,661	729,193	367,471	212,202	0	3,013,617	0	0	3,013,617
旅費交通費	2,383,177	220,371	782,905	929,047	1,010,090	54,339	78,198	0	5,458,127	0	0	5,458,127
通信運搬費	1,339,415	1,303,758	735,052	193,691	1,432,747	637,195	250,533	32,096	5,924,487	0	0	5,924,487
減価償却費	2,001	1,964,963	1,029	360	41,803	12,746	3,668	0	2,026,570	0	0	2,026,570
消耗品費	10,407,597	5,969,934	3,221,486	49,126	1,085,640	750,063	519,857	39,205	22,042,908	77,840	0	22,120,748
修繕費	147,465	656,943	569,552	1,004	1,557	662,146	349,382	138,300	2,526,349	0	0	2,526,349
印刷製本費	14,056,739	1,107,839	715,832	7,072	1,381,871	68,645	364,781	128,600	17,831,379	0	0	17,831,379
燃料費	443,110	184,503	1,063	7,990	28,041	923,694	238,552	0	1,826,953	16,115	0	1,843,068
光熱水料費	421,690	6,197,151	6,597,715	4,755	17,644	5,129	1,379,519	647,042	15,270,645	0	0	15,270,645
賃借料	9,804,727	10,481,888	60,484,169	20,142	567,012	75,050	464,344	0	81,897,332	0	0	81,897,332
支払手数料	9,472,473	5,007,749	3,638,977	35,200	5,486,539	139,901	92,006	11,000	23,883,845	121,101	0	24,004,946
広告宣伝費	18,716,075	16,882,116	1,533,537	217,418	1,671,153	12,181	178,481	0	39,210,961	0	0	39,210,961
租税公課	1,096,542	120,576	73,200	1,180	215,229	36,400	19,400	11,000	1,573,527	0	0	1,573,527
支払負担金	16,433,916	25,876	80,439	549,513	692,420	456,118	78,860	0	18,317,142	6,000	0	18,323,142
支払助成金	1,165,015,000	0	588,883	0	106,000,000	0	0	0	1,271,603,883	0	0	1,271,603,883
委託費	122,885,886	3,705,680	12,982,727	28,531	43,713,062	1,027,291	1,500,339	5,069,127	190,912,643	0	0	190,912,643
保険料	775,858	246,450	131,640	7,660	0	98,090	124,990	0	1,384,688	5,000	0	1,389,688
受託設備費	0	0	1,785,340	0	200,000	0	0	0	1,985,340	0	0	1,985,340
包装資材費	0	8,111,445	2,453,322	0	0	0	0	0	10,564,767	6,619	0	10,571,386
交際費	8,850	15,751	13,137	1,250	21,061	13,040	1,245	0	74,334	0	0	74,334
会議費	97,708	3,701	0	13,727	1,727	0	0	0	116,863	0	0	116,863
食糧費	70,509	0	0	13,680	0	0	0	0	84,189	0	0	84,189
運賃	2,208,448	540,588	4,834,981	122,578	989,562	5,305	9,178	0	8,710,640	9,060	0	8,719,700
従業員食料材料費	0	0	0	0	0	157,500	0	0	157,500	0	0	157,500
研修費	79,457	437,173	31,000	0	93,036	0	932	0	641,598	0	0	641,598
雑損失	0	40,459	660	0	1	0	0	0	41,120	0	0	41,120
貸倒引当金繰入	607,969	216,621	217,425	17,073	10,831	118,503	19,784	0	1,208,206	55	0	1,208,261
雑費	144,032	73,332	102,362	9,626	121,406	0	0	0	450,758	0	0	450,758
事業費計	1,490,365,321	745,562,333	446,896,307	14,690,610	198,670,128	31,050,318	18,227,436	9,640,203	2,955,102,656	1,966,757	0	2,957,069,413

科目	公益目的事業会計								収益事業会計	法人会計	合計	
	観光振興事業会計	県産品振興事業会計				施設管理運営事業会計			小計			天鏡閣売店
		観光物産館	日本橋ふくしま館	物産展	県産品流通促進	くろがね小屋	天鏡閣	迎賓館				
管理費												
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12,121,925	12,121,925
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,237,926	3,237,926
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,092,429	1,092,429
退職金共済掛金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	148,383	148,383
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84,006	84,006
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	111,297	111,297
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,349	2,349
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,707	51,707
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,554	6,554
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,551	10,551
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,344	5,344
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,978	24,978
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75,719	75,719
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,558	9,558
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97,970	97,970
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,462	5,462
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27,183	27,183
運賃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,900	4,900
研修費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,200	33,200
委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,092	13,092
管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,184,533	17,184,533
経常費用計	1,490,365,321	745,562,333	446,896,307	14,690,610	198,670,128	31,050,318	18,227,436	9,640,203	2,955,102,656	1,966,757	17,184,533	2,974,253,946
評価損益等調整前当期経常増減額	61,659,591	40,293,244	1,447,298	△ 5,553,093	2,602,545	△ 2,748,696	△ 877,520	0	96,823,369	15,312	13,160,622	109,999,303
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	61,659,591	40,293,244	1,447,298	△ 5,553,093	2,602,545	△ 2,748,696	△ 877,520	0	96,823,369	15,312	13,160,622	109,999,303
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
その他の経常外収益												
貸倒引当金戻入	438,271	153,917	54,689	8,159	5,362	3,293	162	0	663,853	45	0	663,898
過年度雑収益	0	2,640,000	0	0	0	0	0	0	2,640,000	0	0	2,640,000
その他の経常外収益計	438,271	2,793,917	54,689	8,159	5,362	3,293	162	0	3,303,853	45	0	3,303,898
経常外収益計	438,271	2,793,917	54,689	8,159	5,362	3,293	162	0	3,303,853	45	0	3,303,898
(2) 経常外費用												
固定資産除却損												
固定資産除却損	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2
固定資産除却損計	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2
経常外費用計	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2
当期経常外増減額	438,270	2,793,917	54,689	8,158	5,362	3,293	162	0	3,303,851	45	0	3,303,896
他会計振替前当期一般正味財産増減額	62,097,861	43,087,161	1,501,987	△ 5,544,935	2,607,907	△ 2,745,403	△ 877,358	0	100,127,220	15,357	13,160,622	113,303,199
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	1,966	0	1,966	△ 1,966	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	62,097,861	43,087,161	1,501,987	△ 5,544,935	2,607,907	△ 2,745,403	△ 875,392	0	100,129,186	13,391	13,160,622	113,303,199
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	242,000	242,000
当期一般正味財産増減額	62,097,861	43,087,161	1,501,987	△ 5,544,935	2,607,907	△ 2,745,403	△ 875,392	0	100,129,186	13,391	12,918,622	113,061,199
一般正味財産期首残高	△ 12,960,336	19,452,538	145,551,118	58,389,226	△ 31,308,406	135,374	365,280	0	179,624,794	△ 30,703,612	9,824,372	158,745,554
一般正味財産期末残高	49,137,525	62,539,699	147,053,105	52,844,291	△ 28,700,499	△ 2,610,029	△ 510,112	0	279,753,980	△ 30,690,221	22,742,994	271,806,753
II 指定正味財産増減の部												
基本財産運用益												
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,702,420	10,702,420
基本財産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10,702,420	10,702,420
特定資産運用益												
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	207	207
特定資産運用益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	207	207
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,022,809	11,022,809
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 320,182	△ 320,182
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,723,105	917,723,105
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	917,402,923	917,402,923
III 正味財産期末残高	49,137,525	62,539,699	147,053,105	52,844,291	△ 28,700,499	△ 2,610,029	△ 510,112	0	279,753,980	△ 30,690,221	940,145,917	1,189,209,676

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続組織の前提に関する注記

当該事業年度末日において、継続組織の前提に関する疑義は存在しない。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）によっている。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

#### (3) 固定資産の減価償却の方法

##### ①有形固定資産

法人税法の規定に基づく定率法または旧定率法によっている。

ただし、平成19年4月1日以降に取得した建物については定額法によっている。

##### ②無形固定資産

定額法（残価0円）によっている。

#### (4) 引当金の計上基準

##### ①貸倒引当金

法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上している。

##### ②退職給与引当金

平成18年4月1日より職員就業規則を改定し、独立行政法人勤労者退職金共済機構の退職金共済制度に加入している。

改定前の規則に基づく退職金については、自己都合による要支給額を引当金計上している。

#### (5) リース資産

通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。

#### (6) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用している。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
<b>基本財産</b>				
投資有価証券	905,656,133	0	320,182	905,335,951
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	915,656,133	0	320,182	915,335,951
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	22,886,194	0	0	22,886,194
運営強化積立預金	6,054,000	0	0	6,054,000
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	94,000,000	20,000,000	30,000,000	84,000,000
公益目的事業財政安定化積立資金	0	6,500,000	0	6,500,000
施設管理運営事業財政安定化積立資金	0	4,000,000	0	4,000,000
観光物産館・日本橋ふくしま館販売管理システム入替資金	0	10,000,000	0	10,000,000
小計	122,940,194	40,500,000	30,000,000	133,440,194
合計	1,038,596,327	40,500,000	30,320,182	1,048,776,145

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
<b>基本財産</b>				
投資有価証券	905,335,951	(905,335,951)	(0)	—
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	(0)	—
小計	915,335,951	(915,335,951)	(0)	—
<b>特定資産</b>				
退職給付引当資産	22,886,194	(2,066,972)	(0)	(20,819,222)
運営強化積立預金	6,054,000	(0)	(6,054,000)	—
日本橋ふくしま館財政調整積立資金	84,000,000	(0)	(84,000,000)	—
公益目的事業財政安定化積立資金	6,500,000	(0)	(6,500,000)	—
施設管理運営事業財政安定化積立資金	4,000,000	(0)	(4,000,000)	—
観光物産館・日本橋ふくしま館販売管理システム入替資金	10,000,000	(0)	(10,000,000)	—
小計	133,440,194	(2,066,972)	(110,554,000)	(20,819,222)
合計	1,048,776,145	(917,402,923)	(110,554,000)	(20,819,222)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

勘定科目名	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	530,000	530,000	0
車両運搬具	3,090,215	2,750,222	339,993
什器備品	18,590,306	15,782,455	2,807,851
ソフトウェア	6,105,104	5,565,870	539,234
合計	28,315,625	24,628,547	3,687,078

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第316回利付国債	300,080,220	300,780,000	699,780
第317回利付国債	300,084,861	301,680,000	1,595,139
第319回利付国債	100,042,275	100,870,000	827,725
第120回利付国債	205,128,595	236,933,880	31,805,285
合計	905,335,951	940,263,880	34,927,929

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
令和2年度(公財)事業等補助金	福島県	0	47,382,000	47,382,000	0	一般正味財産
ふくしまDMO推進プロジェクト事業補助金	福島県	0	38,633,000	38,633,000	0	一般正味財産
国立・国定公園への誘客の推進事業	環境省	0	2,679,000	2,679,000	0	一般正味財産
福島県観光物産振興事業等補助金(退職金)	福島県	2,066,972	0	0	2,066,972	指定正味財産
合計		2,066,972	88,694,000	88,694,000	2,066,972	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	11,022,602
特定資産受取利息	207
合計	11,022,809

## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため省略。

2. 引当金の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	663,898	1,208,261	0	663,898	1,208,261
退職給付引当金	20,819,222	0	0	0	20,819,222

※ 貸倒引当金の当期減少額「その他」は、期末洗替えによる戻入額である。

財産目録  
令和3年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	8,877,484
	普通預金	東邦銀行 県庁支店 他	〃	375,355,145
	売掛金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品売上代 他	25,710,538
	信販未収金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品売上代のクレジット利用分	17,605,595
	未収金	福島県 他	県委託事業による受託料収入未収分 他	77,510,490
	商品	観光物産館 他	棚卸資産	21,921,125
	食事材料	くろがね小屋	〃	619,647
	貯蔵品	くろがね小屋 他	〃	564,232
	前払費用	日本橋ふくしま館 他	4月分家賃 他	5,999,376
	貸倒引当金	—	貸倒に備えた引当金	△ 1,208,261
流動資産合計				532,955,371
(固定資産)				
基本財産				
	投資有価証券	東邦銀行 県庁支店 他	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	905,335,951
	定期預金	東邦銀行 西福島支店	運用益を公益事業・法人会計の財源として使用	10,000,000
				915,335,951
特定資産				
	退職給付引当資産	東邦銀行 西福島支店 他	職員の退職給付支出に備えた積立	22,886,194
	運営強化積立預金	東邦銀行 西福島支店	運用益を法人会計の財源として使用	6,054,000
	日本橋ふくしま館財政調整積立資金	東邦銀行 県庁支店	日本橋ふくしま館の管理運営のための積立	84,000,000
	公益目的事業財政安定化積立資金	東邦銀行 県庁支店	公益目的事業のための積立	6,500,000
	施設管理運営事業財政安定化積立資金	東邦銀行 西福島支店	くろがね小屋・天鏡閣の管理運営のための積立	4,000,000
	物産館・日本橋販売管理システム入替資金	東邦銀行 県庁支店	販売管理システム入替のための積立	10,000,000
				133,440,194
その他固定資産				
	車両運搬具	公用車 他	事業に要する車両等	339,993
	什器備品	POSターミナル 他	事業に要する備品等	2,807,851
	ソフトウェア	売掛管理システム 他	事業に要するシステム等	539,234
	電話加入権	協会事務所	電話加入権利	298,552
	敷金	都圏不動産㈱ 他	倉庫敷金等	2,257,240
	保証金	全国旅行業協会 他	旅行事業に係る弁済業務保証金分担金 他	2,510,000
	出資金	福島県旅行業協同組合	旅行事業に係る組合出資金	50,000
	預託金	自動車リサイクル促進センター	自動車リサイクル預託金	13,710
				8,816,580
固定資産合計				1,057,592,725
資産合計				1,590,548,096
(流動負債)				
	買掛金	観光物産館 他	公益事業等で販売する県産品仕入代等	90,543,479
	未払金	くろがね小屋	職員退職金	1,128,610
	未払費用	㈱JR東日本企画 他	公益事業等に係る支払経費等	212,563,798
	未払消費税等	—	決算において確定した未払消費税	33,537,531
	前受金	商品券購入者 他	ふくしま県産品応援商品券販売代金 他	18,563,740
	預り金	源泉所得税 他	源泉所得税等の預り金	4,715,205
	仮受金	物産展等出展業者 他	物産展等出展業者未精算売上金 他	19,224,835
	未払法人税等	—	決算において確定した未払法人税	242,000
流動負債合計				380,519,198
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員の退職金に係る引当金	20,819,222
固定負債合計				20,819,222
負債合計				401,338,420
正味財産				1,189,209,676